30年度予算

総額 四億六千三百万円
一般会計は二億八千万円
市直営診療所また否決さる

新津市議会三月定例会は三月十二日に招集され議員提案三件を含む七十七議案を上提し、本会議を開くこと三回、常任委員会九回を開会、会期十三日間に亘つて慎重に審議し、三月二十五日全議案を議了。一般会計は原案通り二億八千四十三万五千三十円を、特別会計では今回もまた市直営診療所設置が否決されたほか、水道費五千三百七十万九千二百四十円、国保四千百七十四万六千六百円、公益質舗費五百七十万三千四十円、職員恩給費三百十三万八百四十円、住民税整理資金費五千五百四十四万二千五百六十円、分譲住宅費二千三百七十五万九千八百八十円など一般、特別会計総計四億六千三百九十二万七千百九十円を可決閉会した。なお市長の予算説明は別項のとおり。

市長の予算説明

国・縣事業を極力獲得 自然増収で増税せず
水道料、国保料は値上げ

金津、小合両村合併第一年度たる昭和三十年度の一般会計並に特別会計予算案を市議会に提出、別項の通り可決されたが以下は本会議における塩田市長の予算説明である。

基本方針

本日昭和三十年度予算案を御提案いたしましたのでその編成方針並に内容につき概要を御説明申上げ御審議の御参考に供したいと存じます。

昭和二十九年度は議員各位、関係御当局、国・県会議員並に市民各位の御援助御協力により第一小学校及第五中学校々舎の増築、公営住宅の増設、山谷跨線橋、阿賀浦橋、中野大久線秋葉山開発、能代川の改修、県道新潟―新津線の舗装、上水道拡張工事、保育所の増設消防施設の強化改善等の諸事業が大方予定の如く順調に進捗いたしましたことは市勢発展と市民の福祉増進のためまことに喜びに堪えないところでありましてこの機会に各位に対し深く謝意を表する次第であります。

さて私の施政方針は昭和二十九年度の当初予算御審議の市議会に申上げました通りでその基本的方針は今日も何等変つておりませんが、それから一ヵ年を経過し一般社会情勢も経済事情も政府の施策及県政にも相当の変化があり、又金津村小合村の合併による新事態も生じましたので、市の明年度予算もそれに対応して編成致した次第であります。

それで明年度予算編成の基本方針或は考え方でありますが

一、現下の市民の負担力に鑑み増税をさけたこと。

二、事務的経費は極力圧縮し将来大新津市建設のための施設又は事業費に廻したこと。

三、市村合併に関する協定事項、新市建設計画、合併市村申合事項を尊重して編成したこと。

四、職員は少数精鋭主義を採り特殊技術を要するものを除き増員と臨時職員の補充は出来るだけやらぬこと。

五、道路、橋梁其他各種施設の修理復旧に重点をおき新規施設新規事業及び改良的のものは必要最少限度に止めたこと。

但し国・県、の行う新津市民の福祉増進施設事業又は起債、補助事業は市財政の許す限り極力獲得、実現に努め市発展の要素たる基礎的施設事業の整備拡充を計ること。

六、赤字約三千万円をかかえているので学校建築、道路、橋梁、市営住宅その他施設、事業起債補助の伴うものは出来るだけその認証又は許可後実施し財政の健全を計ること

七、国・県の予算確定後又は地方財政赤字措置法の施行後は市の予算の補正もさけられないこと。右の方針及び考え方で三十年度予算を編成致しました。

一般会計歳入

一般会計では歳入二億八千四十三万五千三十円歳出二億八千四十三万五千三十円となつております。主なるものを申上げますと

市民税五千万円

市税 ①市民税では所得の増額による自然増収を若干見込んで総額五千二百八十三万四千四百円を計上しました②固定資産税では賦課率15/1,000を14/1,000に引下げましたが評価額の増により若干の増加を見四千九百七十二万三千六百九十円を計上しました。

地方交付税 では現新津分一千四百六十十万円、現金津分二百三十一万六千円、現小合分三百六十万円、計二千五十万六千円を計上。

公企業及財産収入 では土地売払代三千四百十万円を計上。

分担金、負担金 では市道の舗装工事費分担金として栄町線分及び山谷小路分を三十八万二千円を計上。

使用料及び手数料 では火葬場等の使用料三十七万一千円を計上。

国庫支出金 では消防施設費補助七十万円及び排水施設施設費補助一百五十万円を新計規上、第一小学校改築費補助二百四十三万六千円及び結小学校増築費補助四十八万円、住宅建設費補助五百六十八万円を計上しました。その他の国庫支出金は法令によるものであります。

県支出金 では観光道路築造費補助六万円を計上。

寄付金 では消防費として現小合地区よりの寄付金四十五万円を計上。

市債 では市庁舎増築費債一百万円、土木費債九百三十万円、教育費債一千一百三十万円、失業対策費債二百四十万円、公営住宅建設費債三百万円、保健衛生費債一百八十万円、産業育成資金債二百万円を計上しました。

跨線橋負担1,000万円
負担軽減方を県と交渉中

一般会計歳出

議会費 議員定数を三十六人として報酬は前年通り計上しました。

市役所費 では市庁舎の増改築費（旧桂邸分）一百五十万円を計上しました。

消防費 では消防署の敷地拡張費を三十万円新津地区団員に各一足宛の地下足袋給与費を十一万八千円、新津地区第一分団破壊器具をゴムタイヤに改増費三万円を、新津地区消防団火の見櫓五本建設費十万円を、分団の小型動力ポンプ二台の購入費七十四万九千円、小合地区団用三十五馬力小型動力ポンプ三台購入費一百八十万円、金津、小合地区消防団の給与は前年通り計上しました。

土木費 ①道路橋梁費では大郷線拡張工事費を五十六万二千円、大安寺金屋線拡張工事費を九十万円、下興野線拡張工事費を九十万三千円、栄町線舗装工事費を八十二万八千円、山谷小路舗装工事費を四十四万五千円、その他の道路の新設改良工事費を一百十万円、市道二百七十二号線下興野橋架替工事費を一百四十六万四千円、秋葉線辛橋架替工事費を三十三万六千円、県道白根、新津線、山谷跨線橋架設費地元負担金を一千万円、県道新潟線改良工事費地元寄付金を六十万円、県道新津、新発田線、阿賀浦橋架替工事費地元寄付金を一百十万円、県道新津村松、加茂線改良工事費地元寄付金を二十五万円、金津、滝ヶ沢線改良工事費を三十二万円、古津駅前朝日線新設工事費を九十一万円、新津、小須戸線改良工事費を五十万円、敷砂利の経費を二百九十六万二千円に増額計上しました。②河川費として能代川改良工事費地元負担金を五十万円、金津川床止工事費（三ヵ所分）を三十万円計上しました。③都市計画費として継続施行中の中野、大久保線築造工事費を三百六十二万円、善道地区排水施設費を三百万円新規計上、秋葉観光道路築造費を十二万七千円計上しました。

一小屋内体操場改築など

教育費 では①小学校費として第一小学校屋内体操場三百坪、改築費を一千三百八十八万三千円、第一小学校用地費を九十三万九千円、結小学校四教室増築費を四百三十万円、結小学校平家建二教室移築費を二十八万五千円、結小学校水道工事費を五十万円、中学校費と通算して臨時大工賃を一ヵ年分小合南小学校の電話架設費を三十五万三千円計上しました。②中学校費として第二中学校の水道工事費を五十万円、第五中学校四教室増築費を六百二十四万八千円、金津中学校ピアノ購入費を二十九万円、金津中学校の自動カンナ設備費を十万円小合中学校の電話架設費を十五万七千円、小合中学校の補強工事費を三十万円計上しました。③幼稚園費として第五（市ノ瀬）幼稚園に他費目からの転用により臨時教諭を一名増員することにしました。④図書館費として転用により職員一名を増員、図書購入費を七万五千円増額し五十五万五千円計上しました。⑤公民館費として映写機一台及び幻灯機一台の購入費を三十七万円、分館費を四万円増額青年学級費を七万四千円増額しました。

社会教育費増額

⑥社会教育費として市民運動会の経費を二万七千円増額、成人式の経費を二万円増額、体育団体及び文化団体の助成金を六万円増額しました。⑦教育諸費として卒業生就職補導費を二万五千円増額、教員研究費助成金を七万五千円を新規計上、新津高校整備費地元負担金を七百六十万五千円、定時制高校両川分校の分担金三万円、教員住宅一棟建設費を六十万円計上しました。

住宅費千四百万円

社会及び労働施設費 では①児童福祉費として要保護児童教育費補助金を十万円増額、鉄道弘済会立保育所措置費八十四万円、季節保育所施設費補助金を三十二万円計上しました。②保育所費として中央保育所の買収費を三百万円、東保育所の建物買収費を一百万円計上しました。③住宅費として第一種簡易耐火構造住宅二棟十二戸分の建設費を六百七十万二千円、第二種木造住宅二十戸分の建設費を七百六十三万六千円計上しました。

保健衛生費 では①清掃費として運搬人夫を一人増員、②し尿処理費（起債事業）としてし尿貯溜槽新設費を二百二十万円計上しました。

火葬場費 として待合室及び車庫建設費を七十七万八千円、電話架設費を十五万円、霊柩自動車購入費を一百八十万円、霊柩購入費を十万円計上しました。

屠場費 として電話架設費を十五万円計上しました。

秋葉公園に水道施設など

産業経済費 では①商工費として商工振興用講演講習会の費用を四万円増額、商工会議所の補助金と中小企業相談所補助金を合算し五十万円、産業育成資金を二百八十十万円、各地特産品の展示会、即売会の参加負担金を三万二千円増額計上しました。②観光費として秋葉公園管理人（一人）手当を新規計上、新津市宣伝用リーフレットなどの印刷費及び同資料作成委託料を八万円増額、秋葉公園の水道施設費を三万円、観光協会補助金を五万円新規計上しました。③農業費として各種採種事業費を二十三万円増額青少年営農改善教育助成費五万六千円を新規計上病虫害防除用薬剤購入助成費を二百八十五万一千円、球根温度処理費補助金を二十万円、全国牡丹協会大会補助金を五万円計上しました。④農業委員会費として農業委員会費は各地区別に区分し大体前年度額を計上しました。

諸支出金 では国保会計への繰出金を二百五十万円に増額、（二十九年度は新津市一百万円、金津、小合村で一百万円、計二百万円）計上しました。

住宅56戸を建設

特別会計

次に特別会計水道費では、経常的事業費のほか臨時拡張事業として起債工事三千余万円を計画し緩速濾過池一基配水池、秋葉山高地区用一池を増設し、また給水区域の拡張を図ることに致しました然し特に申上げねばならぬことは公債償還費の増額、電力料の値上げ等のため不本意ながら已むを得ず水道料二割乃至三割方平均二割五分三厘の増徴を見込まなければならなかつたことであります。

国保29%増徴

次に特別会計国保費でありますが、昨年以来サービスの改善と利用者の激増により現存の保険料では運営が困難となるので一般会計より二百五十万円を繰入れてもなおかつ不足を生じますので前年比二十九%の増徴により歳入歳出のバランスをとり、健全経営の方策を樹立した次第であります

なお市街地より離れ幽僻施設に恵まれない地域市民の利便を計るため直営診療所一ヵ所の新設費を計上致しました。（註・直営診療所は別項通り否決さる）

保険料及び諸給付金は合併市村地域共通同率であります。

次に住宅難緩和のため一般会計住宅費に計上した市営住宅建設三十六戸の外特別会計におきまして分譲住宅として二十戸を計画致しました。次に特別会計公益質舗費では運転資金の新規借入れを五十万円増額計上し、特別会計職員恩給費では職員の互助会貸付金二十万円と積立金二十万円各増額計上致しました。

以上明年度予算の概要につき御説明申上げた次第でありますが、なお議員各位の御質疑に対しましては私又は関係職員から詳細にお答え申上げたいと存じますからよろしく御審議の上御協賛をお与え下さるよう御願い申上げます。

市村政府借入1億8千万円

昭和三十年二月一日現在における新津市、金津村及び小合村の学校建築、公営住宅建築、土木費、水道の起債など政府、地元からの負債の状況は次のとおりで総計約一億七千九百九十八万九千円でこれらは昭和三十五年から同四十九年の間に返済されることになっている。

◎新津市 借入金額総額一億二千八十二万九千円、そのうち七百十九万七千五百八十二円は償還済である。

◎金津村 借入金額総計百六十五万円である。

◎小合村 借入金額総計百六十一万七千円、そのうち二十五万六千円が償還済である。

火災の早期発見者へ

去る三月十二日午後十一時三十分頃新津市山先新津労働共済監督所より出火の際全中被服の職員と共に火災の早期発見の通報に協力された方を表彰致したいと思いますから当署へ連絡して下さい。

新津市消防署